垂

六年

画数 8
筆順 ⺧ 垂 垂 垂
オン スイ
クン たーらす＝れる

成り立ち

ふじだなから、ふじの花が〝たれ〟てさいている形を表した字です。

〝たれる〟こと、〝たらす〟ことを表した字です。

また、人が両手に飾りを〝たらし〟て立っている形を表した字と見ることもできます。

使い方

▽つり糸を垂れて、魚がかかるのを待つ間が楽しいということですが、ぼくにはその気持ちはとてもわかりません。

▽わたしは懸垂ができなかったので、夏休みに毎日練習しました。おかげで十回も懸垂ができるようになりました。

熟語例

▽懸垂（ケンスイ）（鉄棒（テツボウ）に手を懸けて垂れさがること。体操（タイソウ）では鉄棒にぶらさがり、両うでの力で体をつり上げる運動のことを言います。）

▽垂直（スイチョク）（直線、または平面に、直角になるように垂らした直線のことを〝垂線〟と言い、この関係を「垂直である」と言います。）

▽垂下（スイカ）（垂れ下がること。下に垂れること。〝下垂〟とも言います。）

▽垂範（スイハン）（模範を垂示すること。手本を示してわからせること。例リーダーが率先垂範して練習した。）

▽垂示（スイジ）（手本を示して教えること。）

▽垂訓（スイクン）（教訓を垂れること。また、与えられた教訓）

推

六年

画数 11
筆順 扌 扌 扌 推
オン スイ
クン おーす

成り立ち

〝進（3年 348）〟の意味を表した〝隹（スイ）〟と、〝扌〟とを組み合わせて作った字です。

「手で〝おし進める〟」という意味を表した字です。

「物事を〝推し進める〟」という意味に使います。例推進、推挙、推奨、推選（薦）。

また、「推し量る」という意味に使います。例推量、推測、推理、推計、推定、推論。

「変化する」意味にも使います。例推移。

また、〝推考（敲）〟という使い方もあります。

使い方

▽ぼくは推理小説が大好きです。エラリー・クイーンやディクスン・カーなどは、ほとんど読んでいます。犯人はなかなか当たりませんが、楽しんで読んでいます。

▽「推敲」という言葉は、中国の詩人の故事から出ています。その詩人は、自分の詩に「推（おす）」と「敲（たたく）」のどちらを用いるべきかを長いこと考えたといいます。そこで、文章をあれこれと練り直すことを「推敲」というようになりました。「敲」の字がむずかしいので「推考」と書く人もいます。

熟語例

▽推進（スイシン）（推し進めること。「ロケットの推進力」などというふうに、つかいます。）

▽推挙（スイキョ）（ある地位にふさわしいとすすめること。）

▽推奨（スイショウ）（ある人や物が優（すぐ）れていると、人に奨（すす）めること。）

▽推薦（スイセン）（ある人や物を人に薦（すす）めること。今は「推選」とも書きます。）

▽推量（スイリョウ）（人の心などを推しはかること。）

▽推理（スイリ）（わかっていることをもとに、まだわからないことを理論的に推しはかること。）